

福島市子どもの居場所づくりバックアップ本部主催

講演&パネルディスカッション

子どもの育ちに必要なもの

～エンパワメントと地域支援の必要性～



現在、7人にひとりが貧困の状態にあると言われています。いま子どもたちが置かれている状況を知ると同時に、子どもたちのエンパワメントについて、地域で子どもの育ちを支えることについて、子ども食堂をはじめとした各地域での様々な実践例を交えて、考えたいと思います。



2019年 3月 27日 (水)

13:00～15:30(12:30開場)

福島県青少年会館 大研修室

定員:150人 参加費:無料

主催：福島市子どもの居場所づくりバックアップ本部
(受託団体：特定非営利活動法人ビーンズふくしま)



講演&パネルディスカッション

子どもの育ちに必要なもの ～エンパワメントと地域支援の必要性～

対象

子ども支援や地域づくりに
興味のある方、学校関係者、保護者

定員

150人 定員になり次第締め切らせ
ていただきます。

申込

下記必要事項を記載の上、FAXもし
くはE-MAILにてお申し込みください。

締切

2019年3月22日(金曜日)

講師紹介

森田明美先生

東洋大学社会学部
社会福祉学科教授

日米の共働き・シングルマザー・シングル
ファーザー、10代の母親など子育て家庭の
実態と子育て支援に関する実証的研究を実
施。地域や家庭で子どもが育つことを支
える仕組みを子どもの権利の視点からど
のように作り出すかということの研究を中
心にしている。NPOこども福祉研究所や
国連NGO子どもの権利条約総合研究所
を通じても活動。近著に『逐条解説 子
どもの権利条約』(2009年8月日本評
論社)『よくわかる女性と福祉』(2011
年4月ミネルヴァ書房)など

スケジュール

- 12:30 受付開始
- 13:00 開会
- 13:10 森田明美先生 基調講演
- 14:20 休憩
- 14:35 パネルディスカッション
- 15:30 閉会

パネラー

安達光江さん
(福島市蓬萊方部民生委員協議会 主任児童委員)
2017年より年2回子ども食堂を運営しており、
現在は学習支援を中心とした子どもの部屋「虹」を定期開催している。

松田悠希さん
所属:宇都宮大学大学院修士課程
教育学研究科 家庭科教育領域 1
年住環境・まちづくり研究室
同大学学部の3年生の時に、学生
を集めて「あいあい食堂」を開始。
現在は、子どもの居場所と言われ
る子ども食堂を、実際に子どもが
どのように「居場所」とするのかを
研究している。

渋沢やこさん
(布芝居なにぬの屋、遊び場つくり
隊だんだん主催)
フリーの役者かつ布紙芝居なに
ぬの屋パフォーマー。発達に偏
りがある子どもの表現活動や野
外の冒険遊び場および子どもの
居場所づくりの活動に継続して
関わり地域に住む演劇人として
活躍中。現在は郡山にて遊び場
つくり隊だんだんを主催。

FAX番号: 024-563-6223 E-MAIL: info-kodomonoibasyo@beans-fukushima.or.jp

※申込の際には、番号およびアドレスのお間違いのないように十分お気をつけください。

3月27日講演&パネルディスカッション 申込書

参加者①	氏名 (ふりがな)		性別	
	所属		電話番号	
参加者②	氏名 (ふりがな)		性別	
	所属		電話番号	

【お問い合わせ先】

主催:福島市子どもの居場所づくりバックアップ本部(受託団体:特定非営利活動法人ビーンズふくしま)

住所:福島市矢剣町22-5 電話番号:024-563-6255 080-4184-9438(担当者直通)

～本事業は福島市の主催する福島市子どもの居場所づくり支援事業を特定非営利活動法人ビーンズふくしまが受託し運営するものです。～